

ニ中スピリッツ

【学校教育目標】
「つくる（創造） みがく（実践）」

帯広市立帯広第二中学校

子どもたちの「社会力」～ライフスキルを育てる

先日、部活後援会総会を行いました。部活動は、礼儀、感謝、思いやり、責任、協力などたくさんの事を経験したり学習したりします。このことは、何よりも、社会で生きていく上で、とても大切な力になります。

また、部活動は、大会やコンクールに出場する生徒だけでは、目標を達成することはできません。レギュラーの他、仲間作りを支える人、人をやる気にさせる人、情熱や元気や笑顔を与える人、優しさを与える人、練習する上で仲間を引っ張る人など、試合やコンクール等に出られなくとも、重要な役割を持っている人がいます。

人との比較から生まれた「価値」は、時間と共に風化しますが、自分の満足度を高めた「価値」は財産として残ります。結果だけでなく、その過程をプラスの感情を持ち、楽しめることで才能はぐんぐん伸びます。

体と技の鍛錬に比べ、心の成長には限界はありません。困難を乗り越える心の力をつけることが望まれます。また、知識のあるなしではなく、学校で学び、身につけた知識をこれからの社会生活にどれだけ有効に活用し、将来遭遇するであろう様々な問題を自分で考え、さらに他の人の考えも聞きながら判断し、自分で、あるいは皆と協力しながら問題を解決することができる力をつけることは、成功をつかむ大切な力です。

子どもの社会力を育てるために、それぞれの立場で意識をしていきたいものです。

『目標を持つ』～「～しなければならない」ではなく「～したい」ことを決める

子ども：自分やチームの目標を決め、掲示する。

親：子どもの目標を聞く。

指導者：子どもの目標を確認しそれを大事にし、達成のための指導をする。

『元気を出す』～栄養・休養・運動のバランスの大切さを考える

子ども：大きな声を出す。好き嫌いを見直し、バランス良く食べる。

親：「元気度」を聞く。栄養面に気を配る。

指導者：みんなで大きな声を出すようにする。「元気度」に気を配る。

『感謝する』～人に与えたことは自分に帰ってくる

子ども：親、仲間、指導者に「ありがとう」を言う。

親：感謝する意味を話し合う。家の中で「ありがとう」を言う。

指導者：子どもや周りの人に「ありがとう」を言う。

『チャレンジする』～失敗を怖がらない勇気を持つ

子ども：失敗を恐れず、目指す動きを追求する。

親：子どもがトライしたことをほめ、勇気づけをする。

指導者：失敗しても勇気を認め、勇気づけをする。

『集中する』～過去のことや先のことより、今できることを一生懸命やる

子ども：必ず返事をする。今すべきことを考える。

親：返事をさせる。今すべきことを話し合う。

指導者：返事をさせる。一生懸命の大切さを教える。

『自分の良いところを知る』～悪いところを直すより、良い部分を伸ばす

子ども：自分の心・体・技の良いところを見つける。

親：子どもの心・体・技の良いところを見つける。

指導者：一人一人の心・体・技の良いところを考え、伝える。

『人の良いところを見る』～いつもと違う視点から他人を見て、良い部分に目を向ける

子ども：チームメイトや周りの人の良いところを見つける。

親：良かったことに耳を傾ける。子どもをほめる。

指導者：良いプレーを指摘する。良いところを伝える。

『できることは自分でする』～自己決定と行動に責任をとる意識を高める

子ども：自分で決めてすることに責任を持つ。

親：自分で決めることや自発的な行動をすすめる。

指導者：上達のために何をすればいいかを問いかけ、自発性をうながす。

『イメージを大切にする』～なりたい自分をできるだけ具体的に思い描く

子ども：自分の気持ち、思いつきやイメージを持ち、言葉で表現する。

親：子どもの発想を大切にし、話させる。

指導者：考えやイメージを持つことの大切さを伝え、言葉で表現させる。

『協力する』～チームワークを育て、お互いの思いやりの心を育てる

子ども：友だちの気持ちや考え方について考える。自分の気持ちを友だちに伝える。

親：お互いの気持ちを伝え合う。家族で助け合う。

指導者：一人一人の役割を考え、チームで協力して練習やゲームをする。

『応援する』～お互いに励まし合い、競い合うことの大切さを知る

子ども：大きな声で仲間を応援する。ライバルの人を応援する。

親：子どもの試合を応援に行き、いつも応援していることを伝える。

指導者：人がプレーするとき、声を出し、応援することをうながす。

『変化を知る』～一年を振り返り、自分の成長を自覚する

子ども：前と比べ、上達したことや考えが変わったところ考える。

親：子どもの小さな成長を見つけ、変化を伝える。

指導者：一人一人の心・体・技の変化を見つけ、小さな成長をほめる。

「帯広市子供安全ネットワーク」システムへの登録をお願いいたします。

「帯広市子供安全ネットワーク」システムは平成19年度より導入され、学校から保護者の皆さまへ緊急連絡等に適宜利用されております。

システムの登録については、保護者のみなさまが指定したメールアドレス(1家庭2つまで登録可)に連絡することになります。年度初めに配付いたしました文書を確認いただき、登録をお願いいたします。

なお、文書を紛失された場合には再度配付いたしますので教頭まで(37-2010)ご連絡ください。